

講義シラバス

科目名	衛生管理Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	沖田史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として衛生管理を担当しています						

【授業を通じての到達目標】

美容師は髪や頭皮など人の身体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる。
国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

【学習内容】

美容師に必要な衛生管理の知識として、「感染症(各論)」「消毒法」を教科書を中心に解説し、練習問題を行う。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

衛生管理の教科書、授業で配したプリント

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/11)	美容業と感染症について理解できる。 空気・飛沫を介して感染する感染症についての知識が習得できる。	⑨ (11/27)	消毒法と適応上の注意に関する知識が習得できる。 (消毒法の種類・消毒に必要な条件・病原微生物の抵抗力・消毒薬の使用、保存上の注意)
② (9/18)	空気・飛沫を介して感染する感染症についての知識が習得できる。	⑩ (12/4)	理学的消毒法(煮沸消毒・蒸気消毒・紫外線消毒)に関する知識が習得できる。
③ (9/25)	飲食物を介して感染する感染症についての知識が習得できる。	⑪ (12/11)	化学的消毒法に関する知識が習得できる。 (エタノール・次亜塩素酸ナトリウム・逆性石けん・両性界面活性剤・グルコン酸クロロヘキシジン)
④ (10/9)	血液等を介して感染する感染症についての知識が習得できる。	⑫ (12/18)	すぐれた消毒法とその実施上の注意に関する知識が習得できる。
⑤ (10/16)	動物・節足動物を介して感染する感染症についての知識が習得できる。	⑬ (1/8)	消毒法実習 各種消毒液、器具の使い方、消毒薬希釈法についての知識が習得できる。
⑥ (10/23)	感染症の具体的な対策 標準予防対策、客への対応などに関する知識が習得できる。	⑭ (1/15)	美容所の消毒、清潔法の実際について知識が習得できる。
⑦ (10/30)	消毒とは…病原微生物と非病原微生物についての知識が習得できる。消毒の原理について知識が習得できる。汚染、感染、発病と消毒の意義についての知識が習得できる。	⑮ (1/22)	【定期試験】60 定期試験 感染症(各論)、衛生管理技術(消毒法)の範囲で試験
⑧ (11/6)	殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義に関する知識が習得できる。 美容 業務と消毒…消毒に関連のある法の規定に関する知識が習得できる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	保健Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	母であり、看護師でもあるのでいろいろな意味で皆さんのベルの母になれたらいいです。						

【授業を通じての到達目標】

美容業に従事する者にとって密接な関係にある衛生管理について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。

【学習内容】

美容師に必要なの人体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書・プリント・国家試験過去問題

日時	授業計画	日時	授業計画
⑯ (9/10)	【到達目標】 新学期に向けた目標設定。皮膚の構造(表面、断面)について理解する	㉓ (11/27)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する
⑰ (9/17)	【到達目標】 皮膚の構造について理解する	㉔ (12/4)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する
⑱ (9/24)	【到達目標】 皮膚付属器の構造(毛)について理解する	㉕ (12/11)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する
⑲ (10/9)	【到達目標】 皮膚付属器の構造(皮脂腺、汗腺、爪)について理解する	㉖ (12/18)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する
㉑ (10/16)	【到達目標】 皮膚の循環器と神経系について理解する	㉗ (1/8)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する
㉒ (10/23)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する	㉘ (1/15)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テストテストに備える
㉔ (10/30)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する	㉙ (1/22)	【定期試験】50 皮膚科学の学んだことをテストで確認
㉚ (11/6)	【到達目標】 前半での学びについて確認テスト	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
授業内容の理解する。授業態度、遅刻の指導			

講義シラバス

科目名	文化論Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容・ファッションの歴史を学び、感性を養い、業界の知識を得る。
 国家試験筆記課題として重要なポイントを学ぶ。国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

【学習内容】

文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。
 それぞれが文化論を研究し、テーマを考え、発表を行う

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書文化論、筆記用具

日時	授業計画 【到達目標】	日時	授業計画 【到達目標】
⑯ (9/10)	前期振り返りと、定期試験の解答確認	⑳ (11/19)	洋装の礼装について学び理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。
⑰ (9/17)	現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	㉑ (11/26)	国家試験の過去問題から傾向を分析し、ポイントを理解する
⑱ (9/24)	現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	㉒ (12/3)	国家試験の過去問題から傾向を分析し、ポイントを理解する
⑲ (10/8)	現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	㉓ (12/10)	国家試験の過去問題から傾向を分析し、ポイントを理解する
㉔ (10/15)	現代Ⅳ【2000年代以降】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	㉔ (12/17)	国家試験の過去問題から傾向を分析し、ポイントを理解する
㉕ (10/22)	和装の礼装について学び理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。	㉕ (1/14)	1年間の振り返りと確認問題の解答、解説
㉖ (10/29)	和装の礼装について学び理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。	㉖ (1/21)	【定期試験】60 前期の内容と、後期の内容について確認できる内容の定期試験 筆記試験 4択
㉗ (11/5)	和装の礼装について学び理解を深める。その歴史、特徴、TPOを知る。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。

講義シラバス

科目名	美容技術理論Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。これまでの国家試験科目を含む実技授業・指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師の国家試験に向けて、専門分野の技術・理論の知識に限らず、カウンセリングを通してお客様への心遣いが重要なことを理解する。国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

【学習内容】

美容に関わる専門分野の幅広い技術の種類・技術の流れまた専門用語などを理解する。

【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①・②教科書、B5判ノート、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/11)	【到達目標】 <定期試験フィードバック> 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。	⑨ (11/27)	【到達目標】 <定期試験対策①> 作業姿勢・人体各部名称・美容用具・シャンプーイングの理解を深める。 教科書①
② (9/18)	【到達目標】 エステティック (基本手技・フェイシャルケア)に関する基礎知識を学び理解する。	⑩ (12/4)	【到達目標】 <定期試験対策②> ヘアカットイング・ヘアセットイングの理解を深める。 教科書①
③ (9/25)	【到達目標】 メイクアップ① (概論・皮膚の生理と構造・色彩・パーソナルカラー・用具の種類と消毒方法・まつ毛エクステンション)に関する基礎知識を学び理解する。	⑪ (12/11)	【到達目標】 <定期試験対策③> パーマネットウェーブ・ヘアカラーリングの理解を深める。 教科書①
④ (10/9)	【到達目標】 メイクアップ② (スキンケアからリップメイクアップまでの手順)に関する基礎知識を学び理解する。	⑫ (12/18)	【到達目標】 <定期試験対策④> エステティック・メイクアップの理解を深める。 教科書②
⑤ (10/16)	【到達目標】 ネイル技術 (種類・道具・手順)に関する基礎知識を学び理解する。	⑬ (1/8)	【到達目標】 <定期試験対策⑤> ネイル技術の理解を深める。 教科書②
⑥ (10/23)	【到達目標】 日本髪 (種類・名称・装飾品・技術手順)に関する基礎知識を学び理解する。	⑭ (1/15)	【到達目標】 <定期試験対策⑥> 日本髪・着付け技術の理解を深める。 教科書②
⑦ (10/30)	【到達目標】 <②教科書 理解度確認テスト> エステティック・メイクアップ・ネイル技術・日本髪の範囲内	⑮ (1/23)	【定期試験】60点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。
⑧ (11/6)	【到達目標】 着付け (礼装・花嫁衣裳・着物のいろいろ)に関する基礎知識を学び理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

講義シラバス

科目名	美容技術理論Ⅰ (クリエイティブ&コンテストスタイル)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田 翔太郎 原 達也	講師 プロフィール	原→日本最大級コンテスト全国大会3位(北海道大会総合部門優勝3回)HDC2023モデル部門3位 プレイヤー&代表取締役社長 堀下→Suiii副店長 デビュー月売り上げNO.1 ドリブラ2024北海道大会入賞						
【授業を通じての到達目標】									
自分の個性や感性を反映させたヘアデザインを提案できるようになる 色彩感覚やテクスチャー、形状を駆使して、斬新でユニークなヘアスタイルを造像できる 作品の背景にあるコンセプトを明確にし、プレゼンテーションする力を身につける									
【学習内容】									
主にカット&スタイリング技術でのクリエイティブの表現の仕方について学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式、ウィッグ、スタイリング道具一式					資料検索など				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/11)	オリエンテーション シラバスの確認自己紹介 講師の作品撮り一覧紹介				⑨ (11/27)	作品撮り テーマを決めて表現する相モデルで実施①(校舎内映え背景にて撮影)			
② (9/18)	女性像診断(ヘアメイク、ファッション、ヘア、トータルから考えるジャンル分け女性像)				⑩ (12/4)	作品撮り テーマを決めて表現する相モデルで実施②(校舎内映え背景にて撮影)撮った作品の発表会&アドバイス			
③ (9/25)	一大胆な発想力で作りたいデザインを切っちゃおう(ウィッグ作品制作)				⑪ (12/11)	アシスタント業務についての心得、業務内容、今からやるべきこと			
④ (10/9)	ウィッグ作品制作				⑫ (12/18)	就活説明(会社を受けるうえでの大切なこと、スタイルブック使用するうえでの工夫、リアルティブとクリエイティブの関係性)			
⑤ (10/16)	クリエイティブなカットスタイルを学ぶ(制作した作品に対して大会入賞者がアドバイス)				⑬ (1/8)	コンセプトシートの作成			
⑥ (10/23)	メンズ&レディースカットのポイント(実践)				⑭ (1/15)	テスト前練習			
⑦ (10/30)	ハイクオリティーからベーシックまでのテクニックカラー講習				⑮ (1/22)	定期試験学年末カットコンテストに向けて試作品の作成、評価			
⑧ (11/6)	作品撮り準備(テーマ決め、デザインの展開構成)				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点				
					●評価				
					A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)				
					E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
					●評価方法				
					評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物をしない、遅刻欠席に気を付ける									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤先生 佐藤萌	講師 プロフィール	佐藤先生:ベルエポック美容専門学校卒業後、asteriskにて今年度から8年目勤務になります						

【授業を通じての到達目標】

セニングを使った毛量調節を学び身につける
最新のトレンドを理解し、それに合わせたカット技法やスタイリングを身につける
時間を意識したカットを行うことができる
顔型や骨格に応じたカット技術を学び、身につける

【学習内容】

- ・基本的なカット技術(ワンレングス、グラデーション、レイヤー等)の応用
- ・セニング技術について
- ・ドライ、ブロー技術
- ・カットの基本理論(骨格、髪の流れ、似合わせカット等)

【使用教科書・教材・参考図書】

ウィッグIP150 5個、カット道具一式、ブロー道具一式、スタイリング剤

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/22)	ショートスタイル 刈り上げスタイルを理解する ウッグ①	⑨ (11/24)	レイヤースタイルの応用 ロングレイヤースタイルをカットする
② (9/29)	ショートスタイル 刈り上げスタイルを理解する ウッグ①	⑩ (12/1)	レイヤースタイルの応用 ロングレイヤースタイルをカットする セニング、ブロー、スタイリングを行う
③ (10/6)	ショートスタイル 刈り上げスタイルに合わせたセニング技術 スタイリング技術を理解する ウッグ①	⑪ (12/8)	レイヤーとグラデーションスタイルの応用 レイヤーとグラデーションのコンビネーションスタイル
④ (10/13)	ショートスタイル 刈り上げスタイルに合わせたセニング技術 スタイリング技術を理解する ウィッグに感謝し、シザーの開閉向上に向けて坊主スタイルをカットする	⑫ (12/15)	レイヤーとグラデーションスタイルの応用 レイヤーとグラデーションのコンビネーションスタイル
⑤ (10/20)	ショートスタイル 刈り上げスタイルに合わせたセニング技術 スタイリング技術を理解する ウィッグに感謝し、シザーの開閉向上に向けて坊主スタイルをカットする	⑬ (12/22)	オリジナルショートスタイルのカット ブロー、スタイリング
⑥ (10/27)	ワンレングスの応用技術 ショートワンレングスカットを理解する	⑭ (1/19)	オリジナルショートスタイルのカット ブロー、スタイリング
⑦ (11/3)	ワンレングスの応用技術 ショートワンレングスカットを理解する セニングカットを理解する	⑮ (1/26)	定期試験 オリジナルスタイルの展開図、カット、ブロー、スタイリング
⑧ (11/10)	ワンレングスの応用技術 ショートワンレングスカットを理解する セニングカットを理解する		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (カラーリングデザイン)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60	時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生			
講師名	土井恵美 遠藤浩貴 宮崎美乃里	講師 プロフィール	2024年5月から新しくオープンした美容師の為の美容室STANCE。カラーと髪質改善に特化をし、新しいトレンドを発信し続けるサロン。							

【授業を通じての到達目標】

ブリーチの基本的な理論(髪への影響、化学反応、仕組み、髪への構造等)とその役割を理解し、基礎的な技術を身につける
部分的なブリーチテクニック(ハイライト、ローライト、バレイヤージュ等)の技術を学び身につける
ブリーチを施す際の注意点(肌の保護、パッチテストの重要性等)を理解し、安全に作業することができる
全体ブリーチ、部分ブリーチ(根本、毛先等)の基本的な技術を習得し、均一に仕上げることができる

【学習内容】

ヘアカラーにおける基本的な塗布方法や薬剤知識を身につける

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/12)	自分のやってみたい色を決める、選定、ウィッグの仕込み	⑨ (11/28)	バレイヤージュ①
② (9/19)	実際に先週決めた選定で塗ってみる	⑩ (12/5)	バレイヤージュ②
③ (9/26)	デザインカラーの理論、ウィッグ仕込み	⑪ (12/12)	ルーツカラー①
④ (10/10)	インナーカラー、イヤリングカラー、フェイスフレーミング	⑫ (12/19)	ルーツカラー②
⑤ (10/17)	グラデーション①	⑬ (1/9)	やってみたいデザインを決める、選定、仕込み
⑥ (10/24)	グラデーション②	⑭ (1/16)	実際にやってみる！
⑦ (11/7)	ハイライト①	⑮ (1/23)	テスト
⑧ (11/14)	ハイライト②	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (シャンプー&サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田 翔太郎 福士 琉星	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。美容師としての経験を活かし、ベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる技術スキル・人間力を授業を通して伝えていきます。						

【授業を通じての到達目標】

シャンプーからスタイリングまでの技術を通して、サロンに必要な接客技術を身につけることができる。
美容師としての在り方、考え方を学び専門性を高め、授業を通して即戦力となるアシスタント力を身につけることができる。
業界で必要な技術、知識を身につけるとともに、最新のトレンドを兼ね備えた人材を目指すことができる。

【学習内容】

シャンプー、トリートメント、ヘッドマッサージ、ドライ、ブロー、スタイリングの流れを実践しながら、サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を学ぶ。
サロンワークを意識した学びから、即戦力となる行動ができるようになり就職活動へと繋げる。

【使用教科書・教材・参考図書】

シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式
デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具
スタイリング剤

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

定期的な宿題がある場合も有

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/22)	後期の授業の流れについて理解できる シャンプー、トリートメント、ドライ、スタイリングの流れをスピードを意識して実践できるようになる。(相モデルで実践) 前期の振り返り	⑨ (11/24)	【普通教室】 ゲスト特別授業① 似合わせカウンセリングについて学び、サロンワークスキルを身につける。
② (9/29)	作品撮り① 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトを考えてスタイリングし、撮影までできる(相モデルで実践) 撮影のポイントを理解して実践することができる。	⑩ (12/1)	【到達目標】 学内サロンに向けた準備、トレーニングを実践できる。 一連の流れ、サロンを意識した動きがとれる。
③ (10/6)	作品撮り② 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトを考えてスタイリングし、撮影までできる(相モデルで実践) 撮影のポイントを理解して実践することができる。	⑪ (12/8)	【普通教室】 ゲスト特別授業② 似合わせカウンセリングについて学び、サロンワークスキルを身につける。
④ (10/13)	【到達目標】 アシスタントに必要な知識を身につけ、実践することができる。 パーマのヘルプを学び、アシスタントとしての動きを理解する。 サロンワークを意識した動きができるようになる。(3人1組で実践)	⑫ (12/15)	【到達目標】 【普通教室】 自己PR動画発表 作成した動画を発表することができる。 他の作品からそれぞれの技術、センスを見て学ぶ。
⑤ (10/20)	【到達目標】 アシスタントに必要な知識を身につけ、実践することができる。 カラーのヘルプを学び、アシスタントとしての動きを理解する。 サロンワークを意識した動きができるようになる。(3人1組で実践) (トレーニングクリームで実践)	⑬ (12/22)	【到達目標】 学内サロン実施 12/13、12/21 ご家族、ご友人を招待して、学んだ技術を提供することができる。 12/22の授業は振替のため、休みとなります。
⑥ (10/27)	【到達目標】 髪質改善トリートメントを実践し、流れ・技術を理解する。(相モデルで実践) ストレートアイロンワークの技術を身につける。	⑭ (1/19)	【到達目標】 定期試験に向けたトレーニング スピードを意識し、技術力を向上することができる。
⑦ (11/3)	【到達目標】 自己PR動画作成① シャンプー、ドライ、スタイリングの技術を実践、撮影し1分間のPR動画を作成することができる。(3人1組でチームを組む) 素材づくり、編集、加工、準備	⑮ (1/26)	【定期試験】60 1年間で修得した技術を実践できるようになる。 シャンプー技術:15分 ドライ、スタイリング技術:35分 スタイリング後、撮影して提出。サロンワークを意識した服装であること。
⑧ (11/10)	【到達目標】 自己PR動画作成② 完成させる シャンプー、ドライ、スタイリングの技術を実践、撮影し1分間のPR動画を作成することができる。(3人1組でチームを組む) 素材づくり、編集、加工、準備	【成績評価の方法と基準】	
		<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 	

【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物、授業態度がよろしくない場合は小テストから減点します。

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	北俣京子 稲川千絵	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						
【授業を通じての到達目標】									
基礎を身につけ 完成度を高める									
【学習内容】									
一つ一つ技術を理解し レベルを上げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式・ノート・筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 9/10	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑨ 11/26	【到達目標】 距離感、姿勢を意識して巻くことができる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分			
② 9/17	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑩ 12/3	【到達目標】 面に艶があり ロッド幅に毛が広がっている センター 7分 ・右BS 9分 ・左BS 8分			
③ 9/25	【到達目標】 センターのバランス確認 左BS 上巻き、下巻き バランス良くスムーズに巻ける				⑪ 12/10	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分			
④ 10/8	【到達目標】 センター、右BSのバランス確認 左右のBSバランス良く シンメトリーに巻き収められる				⑫ 12/17	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分			
⑤ 10/15	【到達目標】 根本よりしっかりとシェーブができ 面に艶があり シンメトリーに巻き収められる				⑬ 12/24	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある 全頭 25分			
⑥ 10/22	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 12分 ・左BS 10分				⑭ 1/14	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある、正確なゴム掛けができる 全頭 25分			
⑦ 10/29	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 11分 ・左BS 9分				⑮ 1/21	【定期試験】50 1年間で習得した技術を正確に巻く 時間内完成 25分			
⑧ 11/5	【到達目標】 センターを真つすぐにバランスよく収められる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅰ (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	稲川千絵	講師 プロフィール	市内大手の美容室勤務を経て、現在は円山美容室で勤務。 2004年から本学校で国家試験科目第二課題を専門にサポート。						

【授業を通じての到達目標】

国家試験合格に必要な基本的なオールウェーブの構成を理解することができる。
基本であるフィンガーウェーブの技術力を身につけることができる。

【学習内容】

正確なウェーブ幅、テンションの効いた艶のあるウェーブ、リッジ、7段と縦 1/3のバランス、3段目スカルプチュアカールまでの技術力をつける

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

AW道具一式・タオル4～5枚・筆記用具・雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)

毎回宿題提出

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/12)	【到達目標】 オールウェーブの授業の目的、到達目標の確認。授業内での約束事、基本動作、基本姿勢の確認 実際にウェーブを作ってみる	⑨ (11/28)	【到達目標】 2段目バランス強化 スカルプチュアカールの復習 割れないウェーブ、リッジ、バランスの良い2段目が作れるようになる
② (9/19)	【到達目標】 フィンガーウェーブの基本動作、姿勢の強化 正しい姿勢と目線、コームの持ち方、45度シェープの動作、ウェーブ・リッジを作る上での技術力を身につけるようになる	⑩ (12/5)	【到達目標】 スカルプチュアカールテスト 3段目にスカルプチュアカールを正しく位置に収める
③ (9/26)	【到達目標】 フィンガーウェーブの基本動作、姿勢の強化 正しい姿勢と目線、コームの持ち方、45度シェープの動作を意識しながら、2段目からウェーブが作れるようになる	⑪ (12/12)	【到達目標】 フロントサイドのウェーブ幅と縦1/3を確認し、バランスの良い額をタイムで作れるようになる
④ (10/10)	【到達目標】	⑫ (12/19)	【到達目標】 縦3等分のくり抜き、4、5、6段目縦幅を意識して横スライスを正確にとれるようになる 左右ウェーブのバランスを意識できるようになる
⑤ (10/17)	【到達目標】	⑬ (1/9)	【到達目標】 額の強化、正しい姿勢、動作、確認作業をしながら、バランスの良い額をタイムで作れるようになる
⑥ (10/24)	【到達目標】 正しい姿勢、動作を意識し、2段目ウェーブリッジをバランス良く作る 縦3等分の確認作業を意識できるようになる	⑭ (1/16)	【到達目標】 定期試験に向けて強化 18分でバランス良い額ができるようになる
⑦ (10/31)	【到達目標】 正しい姿勢、動作を意識し、2段目ウェーブリッジをバランス良く作る バランスの良い7段、縦3等分をタイムで作れるようになる	⑮ (1/23)	【定期試験】60 定期テスト18分で作る 2段目～くり抜きながら、4、5、6段目スライス取り、18分で時間内完成
⑧ (11/7)	【到達目標】 3段目スカルプチュアカールに入る 目線、姿勢、ピンの開き方、コームの使い方強化 割れないウェーブ、リッジ、バランスの良いウェーブ幅が作れるようになる	【成績評価の方法と基準】	

【履修に当たっての心構え・留意点】

最初は難しい技術ですが、国家試験合格のためには絶対に諦めない気持ちが必要です。一人一つの動作が異なっている為、遅刻、欠席、忘れ物等がある技術習得が困難になってきてしまいます。日々の出席、宿題、練習などの積み重ねを大事にしてください。

- 小テスト40点/定期試験60点
- 評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)
- 評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅠ) A.カットテクニック	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース			学年	1年生			
講師名	林京平 葛西雄紀	講師 プロフィール	ONTHE林 道内外のコンテスト、フォトコンテスト受賞歴あり。デザインカット、カラーを得意とし多くのお客様から支持されている。トレンドビジョン2022年度ファイナリスト fika葛西 カラーデザインなどの講師活動経験有 道内外のフォトコンテスト受賞歴あり。2018年北海道ヘアドレッシングアワードフューチャースター部門 準グランプリ獲得						

【授業を通じての到達目標】

基本的なカット技術を学び再現することができる
ヘアスタイルのバリエーションを理解し、スタイルに合わせた技術を身につける
ドライやスタイリングなどの技術、知識を学び身につける

【学習内容】

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

SNSや業界誌などに日頃から目を通してトレンドを知っておく

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/23)	自己紹介 アニメキャラを作る 展開図を考える	⑨ (11/25)	メンズカット ショート
② (9/30)	アニメキャラを作る 実際にカットしスタイリング	⑩ (12/2)	メンズカット ショート 2回目
③ (10/7)	マッシュスタイル(前上がりボブ)デモ 実際に切ってみる	⑪ (12/9)	スタイルコピーカット ヘアカタログを見てスタイルをコピー
④ (10/14)	マッシュスタイル続き スタイリング	⑫ (12/16)	スタイルコピーカット続き
⑤ (10/21)	マッシュスタイル バングカット (ストレート、ラウンド、アシメ、フェザー)	⑬ (12/23)	試験ウィッグ仕込み コンセプトシート作成
⑥ (10/28)	ディスコネカット 効果的なカット	⑭ (1/13)	試験ウィッグ仕込み コンセプトシート作成
⑦ (11/4)	ディスコネカット2回目 スタイリング	⑮ (1/20)	学年末試験 フリースタイル カットスタイリング
⑧ (11/11)	刈り上げスタイル ツープロック メンズスタイル	【成績評価の方法と基準】	
		<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容総合 (カラーテクニク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	稲垣梨花	講師 プロフィール	札幌ベルエポック卒業後、美容室Budのスタイリストとして勤務。札幌のトレンドカラーを生み出している。						

【授業を通じての到達目標】

ブリーチの基本的な理論(髪への影響、化学反応、仕組み、髪構造等)とその役割を理解し、基礎的な技術を身につける
部分的なブリーチテクニック(ハイライト、ローライト、バレイヤーージュ等)の技術を学び身につける
ブリーチを施す際の注意点(肌の保護、パッチテストの重要性等)を理解し、安全に作業することができる
全体ブリーチ、部分ブリーチ(根本、毛先等)の基本的な技術を習得し、均一に仕上げることができる

【学習内容】

トレンドカラーの習得、技術UP

【使用教科書・教材・参考図書】

カラーに必要な道具・ウィッグ・クランプ・はけ・カップ・マドラータオル・グローブ等

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

イメージシート作成、デザインのスケッチ

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/22)	オリエンテーション、シラバスの説明	⑨ (11/25)	コンテストウィッグ作成イメージ
② (9/29)	ブリーチ説明、ブリーチ塗布をクリームを使って練習	⑩ (12/2)	コンテストウィッグ作成①
③ (10/7)	ブリーチ塗布練習	⑪ (12/9)	コンテストウィッグ作成②
④ (10/15)	ハイライトデモ、クリーム塗布、ハイライト練習	⑫ (12/16)	定期試験用コラージュ作成
⑤ (10/21)	トレンドのデザインカラーのシャドルーツについて	⑬ (12/23)	コラージュ作品のブリーチ塗布①
⑥ (10/28)	シャドルーツ実践	⑭ (1/13)	ブリーチ塗布② 【定期試験】60
⑦ (11/4)	シャドルーツ②	⑮ (1/20)	コラージュした作品をつくる、オンカラー
⑧ (11/11)	ブリーチウィッグに好きなデザインをいれていく	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅠ) B.スタイリング・アレンジ	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	14 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	神 敦子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

美容師として必要な、スタイリング技術やヘアアレンジ技術の理解を深め、技術を身につける
 基本的な技術の習得に加え、流行のスタイルを学び身につける
 ピン打ちやゴムなどの道具の正しい使い方を理解し、実践できるようになる

【学習内容】

整髪料の使い方・アイロンの使い方を理解し、様々なシーンに合わせたヘアセットが出来るようになる

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】小テスト3点		【到達目標】
① (9/23)	オリエンテーション・アイロンでの巻き方・ピン打ち・黒ゴム	⑨ (/)	
	【到達目標】小テスト3点		
② (9/30)	ハーフアップ・編み込みを使ったヘアアレンジ	⑩ (/)	
	【到達目標】小テスト3点		【到達目標】
③ (10/7)	アップスタイル(タイト・ニュアンス)	⑪ (/)	
	【到達目標】小テスト3点		
④ (10/14)	成人式をテーマにヘアセット(相モデル)	⑫ (/)	
	【到達目標】小テスト4点		【到達目標】
⑤ (10/21)	撮影をテーマにヘアセット(相モデル)	⑬ (/)	
	【到達目標】小テスト4点		【到達目標】
⑥ (10/28)	ショーをテーマにヘアセット(相モデル)	⑭ (/)	
	【到達目標】		【定期試験】60
⑦ (11/4)	【定期試験】相手のやって欲しいヘアセット	⑮ (/)	
	【到達目標】		【成績評価の方法と基準】
⑧ (/)			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

--	--

講義シラバス

科目名	美容総合 (ビューティーメイク)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	2S	授業 形態	総時間数	16 時間
学科	美容師科	コース			学年	1年生		
講師名	三谷綾佳	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。					
【授業を通じての到達目標】								
美容師として必要なメイク技術、コスメの知識など学ぶことができる								
【学習内容】								
タイプ別のメイクの特徴を知り、様々なイメージやシチュエーションに合わせたメイクができるようになる								
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】			
日時	授業計画				日時	授業計画		
① (/)	【到達目標】				⑨ 11/25	【到達目標】3点 タイプ別から選んで相モデル①		
② (/)	【到達目標】				⑩ 12/2	【到達目標】3点 タイプ別から選んで相モデル②		
③ (/)	【到達目標】				⑪ 12/9	【到達目標】3点 カラーメイク①		
④ (/)	【到達目標】				⑫ 12/16	【到達目標】3点 カラーメイク②		
⑤ (/)	【到達目標】				⑬ 12/23	【到達目標】3点 テスト練習、コンセプトシート記入(コスメブランド広告)		
⑥ (/)	【到達目標】				⑭ 1/13	【到達目標】3点 テスト①		
⑦ (/)	【到達目標】				⑮ 1/20	【定期試験】30点 テスト②		
⑧ 11/11	【到達目標】2点 オリエンテーション、タイプ別メイク説明、顔分析してコンセプトシート作り				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【履修に当たっての心構え・留意点】								

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅡ) C.まつエク	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	16 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	小林 莉奈	講師 プロフィール	株式会社EYE SENSE エリア責任者。サロンにて4店舗のエリア責任者として勤務し、主にスタッフの育成、教育、接客指導、店内管理衛生など、現場全体のクオリティー向上を担う。長い現場経験とマネジメントスキルを活かし、2022年より美容専門学校の講師としても活動を開始。また、同系列会社の株式会社OVER(ラッシュアカデミー及び商材会社)の認定講師も務める。実践に役立つ現場視点の指導に定評がある。						
【授業を通じての到達目標】									
まつ毛エクステーションの基本的な知識を学び、安全に正しく実施するための技術を身につける 技術の種類や、使用する道具の理解を深める 安全対策や衛生面の管理を学び身につける									
【学習内容】									
サロンワークに直結する、まつげエクステーションの見た目作り、カウンセリング技術、デザイン提案、カラーエクステーションの基礎を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
まつげエクステーションキット、テキスト					定期的な課題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (/)	オリエンテーションとアイデザイナーの心得: アイデザイナーに求められる姿勢。まつげエクステの基礎知識やアイデザイナーという職業の役割や心得を理解し、学ぶ意欲を高める				⑨ (/)				
② (/)	まつげの生え替わりと成長サイクル: まつげや皮膚の構造、毛周期を正しく理解し、まつげが抜けやすくなる原因や、適切な施術時期・ケアについて説明できるようになる。				⑩ (/)				
③ (/)	まつげエクステとまつげパーマの違いと効果: まつげエクステとパーマの違いや、それぞれの効果を理解し、お客様に適した技術を比較、提案できるようになる				⑪ (/)	【到達目標】			
④ (/)	目元: デザインの基本と黄金比: 目元や顔全体のバランスを考慮し、黄金比率に基づいた似合わせデザインの基本を理解し、提案できる土台を作る				⑫ (/)				
⑤ (/)	目元の健康と施術時のリスク: 施術中に起こり得るトラブルやリスクを把握し、目の構造、疾病の知識をもとに、安全で丁寧な施術対応を学ぶ。				⑬ (/)	【到達目標】			
⑥ (/)	お客様対応力とカウンセリングの技術: お客様との信頼を築くためのカウンセリング技術を身に付け、ご要望を引き出す力と提案力を養う。				⑭ (/)				
⑦ (/)	まつげエクステとビューティー事情: 国内外のまつげエクステトレンドを学び、技術やデザインの幅を広げ、情報感度の高いアイデザイナーを目指す。トレンドカラーまつげエクステを学ぶ				⑮ (/)	【定期試験】60			
⑧ (/)	【到達目標】 マツエク筆記試験				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
出席管理及び、遅刻、忘れ物管理の徹底。学生一人ひとりの個性と成長ス									

講義シラバス

科目名	美容総合 (メイクテクニック)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	14 時間
学科	美容師科	コース			学年	1年生			
講師名	水戸愛里	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。□						

【授業を通じての到達目標】

美容師として必要なメイクの知識を学び理解を深める
 修正メイクなど、顧客のコンプレックスを改善できる知識、技術を身につける
 年代に合わせたメイクを学び、流行や歴史を学ぶことで、最新のメイクを理解する知識を身につける

【学習内容】

様々なメイクの特徴を理解し、シチュエーションやイメージ別でメイクが出来るようになる

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

メイク道具一式

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/23)	【到達目標】小テスト4点 オリエンテーション・スキンケア～コントウアリング		【到達目標】
② (9/30)	【到達目標】小テスト4点 様々な眉の形を理解し、描けるようになる		【到達目標】
③ (10/7)	【到達目標】小テスト4点 アイシャドウのグラデーションが綺麗に出来るようになる (縦グラ・横グラ)		【到達目標】
④ (10/14)	【到達目標】小テスト4点 修正メイク コンプレックス解消メイク 相モデル①		【到達目標】
⑤ (10/21)	【到達目標】小テスト4点 修正メイク コンプレックス解消メイク 相モデル②		【到達目標】
⑥ (10/28)	【到達目標】 定期テスト 模写メイク①		【到達目標】
⑦ (11/4)	【到達目標】 定期テスト 模写メイク②		【定期試験】60

【到達目標】

【成績評価の方法と基準】

- 小テスト40点/定期試験60点
- 評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

- 評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容総合Ⅱ (ヘアアレンジ&メイク)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	箱石結衣 神敦子 水戸愛里 三谷綾佳	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

基本的なヘアアレンジ技術&メイク技術を身につけ、作品撮りや撮影に必要な技術を身につける。

【学習内容】

美容師として活躍するために必要なヘアアレンジとメイクの技術の幅を広げる。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/23)	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション コンセプトシート作成手順の説明、作成	⑨ (11/25)	【到達目標】小テスト3点 成人式ヘアアレンジ
② (9/30)	【到達目標】小テスト2点 キュート、クール、モード 相モデル	⑩ (12/2)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルヘアアレンジ(ヘアチェンジ)
③ (10/7)	【到達目標】小テスト2点 カラーメイク撮影、相モデル①	⑪ (12/9)	【到達目標】小テスト3点 ヘア&メイク作品撮り サロンスタイル 相モデル①
④ (10/14)	【到達目標】小テスト3点 カラーメイク撮影、相モデル②	⑫ (12/16)	【到達目標】小テスト3点 ヘア&メイク作品撮り サロンスタイル 相モデル②
⑤ (10/21)	【到達目標】小テスト3点 傷メイク	⑬ (12/23)	【到達目標】小テスト3点 定期試験用コンセプトシート作成、練習
⑥ (10/28)	【到達目標】小テスト3点 ハロウィンヘアメイク	⑭ (1/14)	【到達目標】小テスト3点 定期試験 ヘア&メイク作品撮り①
⑦ (11/4)	【到達目標】中間チェック5点 KPOP撮影、相モデル①	⑮ (1/20)	【定期試験】60点 定期試験 ヘア&メイク作品撮り②
⑧ (11/11)	【到達目標】小テスト2点 KPOP撮影、相モデル②	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岩淵太秀 (白山かがり)	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校美容師科卒業生。在学中はコンテストで優勝経験がある。卒業後は札幌で美容師として経験を積み、その後は美容商材を扱うディーラーに勤め、現在に至る。						

【授業を通じての到達目標】

トレンドゼミ、業界講話、サロンワークプログラムを通して職業観を高める
業界研究を通じて将来像を明確にして就職活動の準備を行う

【学習内容】

グループワーク、個人ワークを通して月ごとの目標設定と振り返りを行い、働くことはどういうことかを考え、自分の将来像を明確にする

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具、配布資料、新社会人基礎力

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】前期を振り返り、後期に向けての目標設定をする		【到達目標】この職業を目指したきっかけを振り返り、将来の目標を考える
① (9/10)	目標設定シートの作成 就職活動の流れについて キャリアセンターの紹介	⑨ (11/19)	・職業を目指したきっかけを振り返り、将来の目標を設定し、明文化する
② (9/17)	【到達目標】サロン見学について理解し、見学方法を学ぶ サロン見学の流れ、アポイントの取り方 業界見学(サロン検索) 学生技術大会振り返り	⑩ (11/26)	【到達目標】この職業を目指したきっかけを振り返り、将来の目標を考える ・職業人を目指す動機づけ ・自分の想いをプレゼンテーションをする ・11月の振り返りと12月の目標設定
③ (9/24)	【到達目標】自分の将来について考え、働くことをイメージする 美容業界(美容師、アイリスト)を目指したきっかけを振り返る ・職業を目指したきっかけ ・どんな〇〇になりたいか 9月の振り返りと10月の目標設定	⑪ (12/3)	【到達目標】就職活動の流れ、ルールを理解する ・就職活動の流れ ・就職活動におけるルール ・採用試験について
④ (10/8)	【到達目標】履歴書記入の概要を理解する ・履歴書のタイプ ・履歴書の記入方法 ・履歴書記入	⑫ (12/10)	【到達目標】国家試験について理解する ・国家試験概要 ・国家試験の必要性
⑤ (10/15)	【到達目標】履歴書の記入を通して自分の経歴をする 将来像を明確にする ・履歴書の記入方法 ・履歴書記入	⑬ (12/17)	【到達目標】目指す職業についての志望動機を振り返り、意思を固める ・職業を目指すきっかけを振り返る ・目指す職業に必要なことを考え、実行計画を立てる 12月の振り返りと1月の目標設定
⑥ (10/22)	【到達目標】自己分析を通して自分の強み、課題を見つける ・自己分析(経歴、性格、スキル) ・自分の強み、課題について考える	⑭ (1/14)	【到達目標】自分の将来について伝える練習をする プレゼンテーション(面接) ・自分の強み、課題 ・職業を目指すきっかけ ・自分が目指す将来像
⑦ (10/29)	【到達目標】自己分析を通して自分の強み、課題を見つける ・自己分析(経歴、性格、スキル) ・自分の強み、課題について考える 10月の振り返り、11月の目標設定	⑮ (1/21)	【定期試験】60 模擬面接会 模擬面接会を通して自分の考えや気持ちを伝えられるようになる
⑧ (11/5)	【到達目標】自分の強みを明確にし自己PRを考案する ・自己分析(経歴、性格、スキル)を通して、自分の強み、課題を明確にし明文化する ・自己PRのプレゼンテーション		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

自分と向き合うこと、他者の考えを受け入れることをグループワークを通して学ぶ